

2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月14日

東

上場会社名 株式会社みらいワークス 上場取引所
 コード番号 6563 URL https://mirai-works.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 祥治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 池田 真樹子 (TEL) 03-5860-1835
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	3,121	—	64	—	64	—	40	—
2019年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 39百万円(—%) 2019年9月期第3四半期 100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	32.63	30.71
2019年9月期第3四半期	—	—

(注) 2020年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期第3四半期の数値及び対前年四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	1,453	804	55.21
2019年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 802百万円 2019年9月期 100百万円

(注) 2020年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	—	50	—	50	—	30	—	24.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

また、当期（2019年10月1日～2020年9月30日）の連結業績予想修正につきましては、前回公表した月の連結業績予想に対して、第3四半期連結累計期間にて営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が上回っております。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済環境への影響が変化した場合には、当社グループの顧客企業の事業活動に影響を及ぼし、その影響は少なくとも2020年9月期中は継続するものと想定しておりますが、市場環境は厳しさを増す可能性があります。通期の連結業績予想につきましては変更しておりませんが、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年9月期3Q	1,243,900株	2019年9月期	1,228,800株
2020年9月期3Q	106株	2019年9月期	106株
2020年9月期3Q	1,238,966株	2019年9月期3Q	1,222,455株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税増税による個人消費マインドの落ち込みや頻発する台風等の自然災害、世界的な通商問題や中国経済の減速の影響等により、依然として厳しい経営環境が続く中、新型コロナウイルス感染症の世界的拡散により急速な社会情勢の変化が生じ、国内における外出自粛等経済活動が抑制され、今後の先行きは極めて不透明な状況となっております。

この様な状況の中で、首都圏を中心とした人材不足及び働き方改革を背景に、当社のプロフェッショナル人材向けサービス事業は、様々な事業会社を中心に、新規受注を拡大して、事業活動を推進し、当社グループにおいて、主要サービスである「FreeConsultant.jp」及び地方副業サービス「SkillShift」への登録プロフェッショナル人数が14,000名を突破しました（2020年6月末時点）。

2019年10月に地域副業サービスの運営を目的とした合弁会社である株式会社スキルシフトを設立、都市×地方による副業イノベーションプラットフォームとしてのサービスを開始し、地方金融機関との業務提携を実施するとともに、2019年11月に大阪営業所を開設し、関西エリアの顧客企業へのサービスを強化しております。一方で、既存事業の拡大や新規事業展開に資するべく、営業人員含め多様な人材の採用強化のための投資を実施しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,121,005千円、営業利益64,084千円、経常利益64,183千円、親会社株主に帰属する四半期純利益40,429千円となりました。

第1四半期連結会計期間より連結決算を開始しているため、業績の前年同四半期比較は行っておりませんが、参考情報として個別業績の前年同四半期比較は以下のとおりとなります。

売上高3,109,370千円（前年同四半期比18.1%増）、営業利益69,483千円（前年同四半期比15.0%減）、経常利益70,932千円（前年同四半期比16.3%減）、四半期純利益45,872千円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

なお、当社グループは、プロフェッショナル人材向けサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(注) サービス名は商標又は登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、1,453,387千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が882,710千円、売掛金が427,463千円、有形固定資産が16,493千円、無形固定資産が58,448千円、投資その他資産が48,003千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、649,006千円となりました。主な内訳は、買掛金が520,333千円、未払法人税等が6,188千円、賞与引当金が16,072千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、804,381千円となりました。主な内訳は、資本金が207,290千円、資本剰余金が186,946千円、利益剰余金が408,657千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の通期連結業績予想につきましては、前回公表予想から変更はございません。

なお、前回公表した通期の連結業績予想に対して、第3四半期連結累計期間にて営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が上回っております。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済環境への影響が変化した場合には、当社グループの顧客企業の事業活動に影響を及ぼし、その影響は少なくとも2020年9月期中は継続するものと想定しておりますが、市場環境は厳しさを増す可能性があります。通期の連結業績予想につきましては、前回公表予想を据え置いておりますが、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	882,710
売掛金	427,463
その他	20,267
流動資産合計	1,330,441
固定資産	
有形固定資産	16,493
無形固定資産	58,448
投資その他の資産	48,003
固定資産合計	122,946
資産合計	1,453,387
負債の部	
流動負債	
買掛金	520,333
未払法人税等	6,188
賞与引当金	16,072
その他	106,412
流動負債合計	649,006
負債合計	649,006
純資産の部	
株主資本	
資本金	207,290
資本剰余金	186,946
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	408,657
利益剰余金合計	408,657
自己株式	△480
株主資本合計	802,414
非支配株主持分	1,966
純資産合計	804,381
負債純資産合計	1,453,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,121,005
売上原価	2,473,803
売上総利益	647,201
販売費及び一般管理費	583,116
営業利益	64,084
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	1
雑収入	164
営業外収益合計	169
営業外費用	
支払利息	70
営業外費用合計	70
経常利益	64,183
税金等調整前四半期純利益	64,183
法人税、住民税及び事業税	23,271
法人税等調整額	1,840
法人税等合計	25,112
四半期純利益	39,071
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,429

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2019年10月1日
至 2020年6月30日)

四半期純利益	39,071
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
四半期包括利益	39,071
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	40,429
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,358

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。